

## ネットの危険・1

任天堂から  
保護者のみなさまへ、  
大切なお願いです。

ニンテンドー3DSやWii Uには、  
お子さまがゲーム機でインターネットを見たり、  
見知らぬ人とやりとりすることなどを  
保護者の方が制限する機能があります。

インターネットを  
安心・安全にお楽しみいただくために

“プレイステーション”はインターネットを利用した、さまざまな機能をお楽しみいただけます。しかし、インターネットの使い方によっては、トラブルが発生する可能性があります。

校長の石塚です。

12月4日（金）のマラソン大会では、コース上の安全確保、沿道での応援など、お忙しい中でのご協力をいただきありがとうございました。大会後、子ども達からそれぞれの思いをたくさん聞くことができました。みんな、一生懸命にがんばることができたようです。

さて、クリスマスが近づき、スマホ、携帯型ゲームやソフトなどのプレゼントをサンタさんをお願いしている子ども達もいることでしょう。

この時期だからこそ、保護者の皆様にご理解いただき、こうした機器の使い方についてお子様とともに家庭内のルール作りをしていただきたいと思います。

それは、ネット（インターネット）の利用に関するルール作りです。

ネットの普及に伴い、子ども達が様々なトラブルに巻き込まれることも増えています。コミュニティ

サイトの悪用による性犯罪被害に遭ったり、ネット上での発言により子ども自身が加害者となったりするなど、ネット利用に関する指導は、ネットの危険から子どもを守るためにも、極めて重要な課題になっています。

警視庁からは、「コミュニティサイトに係る犯罪被害に遭った子どものうち、4割近くの子どもが学校から、また半分以上の子供が保護者から注意や指導を何も受けていなかったと回答している。」との、調査結果も発表されています。

スマートフォン、パソコン、タブレット、携帯型ゲーム機、据え置き型ゲーム機、携帯音楽プレイヤー。これら全ての機器から、ネット接続は可能です。では、この中で最も多くの小学生がネット接続に利用している機器は、どれだと思われますか。

内閣府の調査によれば、ネットを利用している小学生は全体の53%。そのうち、最も多くの小学生がネット接続に利用している機器は、携帯型ゲーム機でした。

こうした実態も踏まえ、携帯型ゲームメーカー各社では、保護者や子どもに対して、それぞれが注意喚起をおこなっているところです。ぜひ一度、ご覧いただけましたら幸いです。

## ネットの危険・2

2014年6月22日 (日)

急増！小学生の“スマホトラブル”



校長の石塚です。

9月の修学旅行。6年生の様子を頻繁にホームページでお知らせしたところ、2日間で約2500件もの閲覧数となりました。通常平均閲覧数が230件/日であることを考えると、実に多くの皆様にご覧いただけたことがわかります。

修学旅行中は、即時性を高めるため、システム承認権限のある校長がスマホ(スマートフォン)から直接の更新を行いました。仕事でもプライベートでもスマホを手放せない生活の中、改めて「いつでも・どこでも、ネット(インターネット)に接続できる」スマホの利便性を実感することとなりました。

大人に限らず、子どもにとっても便利なスマホ。携帯型ゲーム機も含めたこれら情報端末からのネット接続は、高度情報化社会を生き抜く上に必要な情報活用能力を育む反面、ネットトラブルに巻き込まれる可能性を高めるなど、その危険性についても十分認識する必要があります。

子どものネット利用で最も危惧することは、「大人の目が十分に届かない。」ということです。私たちは誰もが、日常生活の中で大人に見守られながら徐々に成長していきます。たとえ危険なことであっても、大人の指導のもとで少しずつ少しずつそのことに慣れ、危険性を十分に認識した上で自立していくのです。

しかし、ネットの世界では見守るべき大人を飛び越えて、子どもたちが危険なことや危険な人物に近づいてしまう可能性があります。リビングなど、大人の前で利用していれば注意を払うこともできますが、自室やトイレ、浴室から利用する状況ではそれも困難です。また、最近ではフリーのWi-Fiスポットを利用して、携帯型ゲーム機をネット接続している子どもさえいるのです。

見守ることが極めて困難なネット利用。単に禁止事項をつくるのではなく、「ネットを安全に楽しく使うため」と考えさせ、お子さんとともに家庭でのルールを設定することが大切。フィルタリングなど、ルールづくりのための情報も積極的に収集なさってはいかががでしょうか。

#### 【参考】

NHK おはよう日本 2014年6月22日（日）放送

「急増！小学生の“スマホトラブル”」

<http://www.nhk.or.jp/ohayou/marugoto/2014/06/06...>

N T T DoCoMo 「アクセス制限サービス」

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/acce...>

S o f t B a n k 「ウェブ安心サービス (フィルタリングサービス) 」

[http://www.softbank.jp/mobile/service/web\\_safety/](http://www.softbank.jp/mobile/service/web_safety/)

a u 「安心アクセスサービス」

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/featureph...>

## ネットの危険・3



校長の石塚です。

かつて教育学者の森信三氏（故人）は、しつけの三原則として「ハイの返事」「あいさつ」「はきものをそろえる」を提唱なさいました。社会で通用する人となるため、これら最低限に必要なことを身に付けさせることは、親として子どもに最高の贈り物をしたことになる、と森氏と言われています。

インターネット（ネット）の急速な発達に伴い、子どもに対して新たなしつけが必要になっています。高度情報化社会で通用する人となるため、ネットリテラシーを身に付けさせることも大切なしつけなのです。携帯型ゲーム機やスマホを与える際、「ネットを安全に楽しく使うため」と考えさせ、お子さんとともに家庭でのルールを設定なさってはいかがでしょうか。

ルール作りにあたっては、「時間」「場所」「内容」などの観点から、お子さんや家庭の状況に応じて話し合うことが大切。小学生であれば、携帯型ゲーム機やスマホなどのネット接続機器の利用方法について、次のようなルールが考えられます。

### 「時間」

- ・夜〇時から朝〇時までには利用しない。その間、ゲーム機やスマホは居間に置く。
- ・人と話しているときには、いじらない。
- ・周囲の人に迷惑になるような利用はしない。

### 「場所」

- ・ゲーム機やスマホは居間で使う。自室やトイレ、浴室には持ち込まない。
- ・家の外では、ネットに接続しない。

### 「内容」

- ・人を傷つけること、自分や友達の個人情報を書かない。
- ・アクセスするサイトやダウンロードするアプリは、保護者の許可を得る。
- ・知らない人とは、交流しない。
- ・困ったことがあれば、すぐに保護者に相談する。

これらはいくまでも一例です。大切なのは、携帯型ゲーム機やスマホを買い与える前にこうしたルールを話し合いながら設定すること。また、ルールを守れなかった時には、機器を保護者に返却することを事前に約束させることです。

今週はクリスマス。サンタクロースがやってきます。ネットリテラシーを身に付けさせることも、  
親から子どもへの大切な贈り物ではないでしょうか。

(ネットの危険・終わり)

【参考】

政府テレビ（内閣府）

「インターネットの危険から子供を守るのは保護者のあなた！」

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg12149.html>

警察庁

「STOP！ネット犯罪－あなたのお子さんは大丈夫？－」

[https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no\\_cp/n...](https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/n...)

茨城県 家庭教育ブック

「ケータイ・スマートフォンは安全なものだと思いませんか？」（28～29 ページ）

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/kat...>